

いなみ町 議会だより

No.79
2018.11



第2回臨時会・第3回定例会

P2～P4 議案審議

P5～P11 一般質問(7名が登壇)

P12 印南伝承会

議案審議



第3回定例会が9月13日に開会し、9月20日に閉会しました。
議案7件は原案どおり可決しました。
平成29年度の決算認定8件は、決算審査特別委員会に付託されました。

印南町手話言語条例の制定について

提案理由

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の理解と広がり地域で支え合い、安心して暮らすことができる印南町を目指します。

質疑

手話言語条例を制定する自治体は、大変増えてきています。

今、印南町に手話ができる職員はいますか。

また今後、職員にも手話の研修をさせて、手話ができる職員を配置していく計画ですか。

答弁 Ⅱ 住民福祉課長

現在、手話ができる職員はいません。

現場での対応は色々想定しているところですが、

最低限必要な手話がどんなものかなど考えています。

質疑

教育現場において、小さい頃から手話に親しむ環境づくりはしていますか。

答弁 Ⅱ 住民福祉課長

元々、小学校や中学校では、手話講座を開いています。今後、もう少し回数を増やすなどは、可能かと思えます。

答弁 Ⅱ 教育長

各学校において、手話教室という形で実際に学習したり、合唱する時に手話を伴って歌ったりする教育をしています。

また、社会福祉協議会と連携して、夏休みに手話教室を4カ所で行いました。これからも関係機関と連携して進めて行きたいと考えています。

第3回定例会			中島	夏見	前田	藤薮	杉谷	玄素	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口 [※]
条例	手と手で話そう 印南町手話言語条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
その他	損害賠償の額		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	一般会計 (第3号)	平成30年度 補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	後期高齢者医療特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	介護事業保険特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	農業集落排水事業特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	水道事業会計 (第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
決算	一般会計 特別会計(国保・介護・後期高齢・滝ノ岡水道・農業集落排水・同和新築貸付) 公営企業会計(水道)	平成29年度 決算認定	決算審査特別委員会に付託											

※議長は裁決に加わりません。

一般会計補正予算

◎学校管理委託料の増額
1053万円

質疑

小学校の普通教室等へ空調設備を設置する事業は、地元に着した公共事業です。

いろいろと制約があるかと思いますが、設計委託や工事などで、地元の電気屋さんなど地元業者が潤うように対応できないのでしょうか。

答弁II 教育課長

入札には審査会があり、そのルールの中で業者が選定されることとなります。

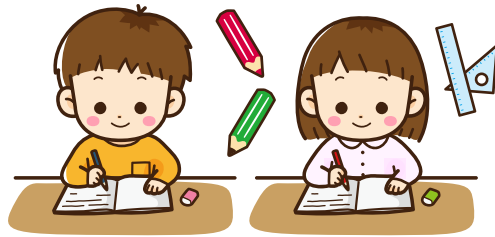
質疑

平成31年の夏休みまでに4小学校に設置す

ることですが、4校同時に進めるのでしょうか。それとも順番に工事を進めるのでしょうか。

答弁II 教育課長

4校同時に進めないで、来年の夏までには間に合わないと考えます。



◎職員研修受講料の増額
82万2千円

質疑

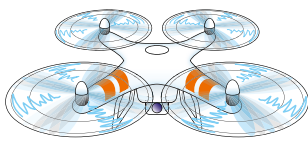
職員のドローン操縦

技能研修等の経費のことですが、現在ドローンの操縦資格を持つ職員は何名いますか。また、今までにどこかで活用していますか。

答弁II 総務課長

現在10名の職員が資格を持っています。さらに、今年新たに10名の受講を予定しています。

先般の台風の後も、民家や公共施設等の屋根が飛ばされた状況などを、ドローンで上空から撮影しました。また、災害訓練の時に活用しています。今後、ますます活用の範囲が増えてくるの



ではないかと考えます。

◎防災諸費の増額

- 避難道整備補修費 400万円
- 避難路整備工事請負費 350万円
- 避難路整備用地購入費 150万円

質疑

避難道路整備補修は、どこをどう整備補修するのですか。

工事請負費と用地購入費で、浜集会場付近の道を拡幅することですが、工事後は何mになるのですか。

答弁II 建設課長

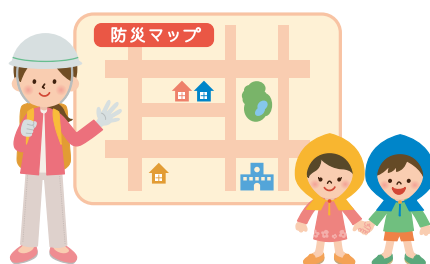
整備補修する避難道は次のとおりです。

- こども園舎の裏から山口西ノ地線へつながらる道
- 上道の久保里谷線
- 元村の本村東浜線

●宇杉の楠本商店付近の町有地

破損・劣化したフェンスを交換したり、倒れる危険性の高いブロック塀を撤去・改修したりする予定です。

浜集会所前の道路は、現在1m前後ある所を、3mにする予定です。延長は約30mです。



議案審議

- ◎災害復旧費の増額
- 農林水産業施設
1273万5千円
- 公共土木施設
2605万4千円
- 文教施設
350万円
- 公共・公用施設
1700万円

質疑
災害復旧費の内容について説明してください。

答弁 Ⅱ総務課長
台風21号の被害による各種施設等の復旧費です。
正確な必要経費を積み上げることが難しかったため、概算による補正です。



主な被害は次のとおり。

- 8つの小中学校
- 上道の改良住宅
- 切目川団地
- JR印南駅舎、駅舎横の駐輪場
- 役場の駐輪場
- 切目の大型作業所
- 切目社教センター
- 印南の肥料工場の大規模作業所、旧水産加工工場
- 各地区の集会所
- その他、様々な場所にも被害が出ています。

8月6日、臨時議会が開催されました。
議案3件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

通学路等のブロック塀改修について

質疑

大阪北部地震の後、小中学校の施設や通学路のブロック塀が一斉に点検されました。
印南町内では、学校関係で改修・撤去すべきブロック塀は、どれだけありますか。

答弁 Ⅱ教育課長

調査の結果、ブロック塀等の総数は町内で141カ所。うち、危険であると判断した107カ所は、県に報告しました。

道路橋梁災害復旧費について

質疑

道路橋梁災害復旧費として設計委託料が計上されていますが、具体的にどこの工事の費用ですか。

答弁 Ⅱ建設課長

- 次のとおりです。
- 櫻川区の櫻川で1カ所
 - 同じく櫻川区の白子谷川で2カ所
 - 羽六のシモツゴ川で2カ所
 - 印南原の坂井谷川で1カ所

第2回臨時会		中島	夏見	前田	藤薮	杉谷	玄素	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口
契約	工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	平成30年度 一般会計予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成30年度 水道事業会計 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません。

一般質問



榎本 一平 議員

子ども達が
安全で安心
して遊べる
公園整備を

質問 町は「みんなが輝く『いなみっ子』未来プラン」を作成し、「子育てするなら印南町」と押し出しています。

このプランは、第1章から6章で構成されていますが、この中に「子ども達が安心して遊べる環境づくり」として、遊具を備えた児童遊園、児童公園、多目的広場等の環境整備に努める」と示されています。

答弁 教育課長

印南を中心に、浜公園をはじめ6公園があり、切目、真妻、稲原、

切目川の各地域には皆無に等しい現状です。近隣市町の公園などを利用されていると思われま



避難準備情報
の発令と、
避難所までの
距離問題

質問

台風20・21号で、

町は避難準備情報を発令し、町内5カ所へ早めの避難を促しました。

私はいくつかの地域の高齢者の方から「移動手段がなく、避難所が遠くて行けない」とのご意見をお聞きしました。

移動手段や避難所までの距離問題など、町民の方々が対応できない問題をどのように考えていますか。

答弁 総務課長

避難に時間を要する方、要援護者の方などの避難所までの移動は、共助の力で対応しても行うことを基本的な考え方にしています。

支援する「自主防災会」の人員不足等、地域支援者の課題がある地域は、地元集会所などに避難していただく必要があると考えます。



台風21号による
長期間の
停電問題
の教訓は

質問

台風21号による

長期間の停電は、町民の方の生活に大きな影響を与えました。地域を回る中で、町民の方から「いつ復旧するのかわからず、不安だった」との意見が大変多くありました。

今回の停電で、行政として教訓にすべき事は何であると考えていますか。

答弁 総務課長

3点あると思います。第1は、住民に対する情報提供です。町は様々な情報提供手段を確保していますが、それらは停電に対して非常にもろかった。

第2は、関電との連携強化です。必要時、情報が得られるように連携強化を図ります。

第3は、住民への支援体制の整備です。仮にこの停電が7・8月なら、健康被害がおよぶ可能性があります。発電機等の貸し出し等、細かな対応がスムーズにできるよう支援体制を整えておく事が重要です。



一般質問



中島 洋 議員

中学校のクラブ活動について

質問 今後の学校統合を見据え、中学校のクラブ活動について伺います。

現在、団体競技は単独の場合と、他の市町村と合同チームで出場する場合とがあります。が、印南町の将来と保護者の負担を考えますと、印南町内でチーム編成するほうが合理的で意義があると考えます。

答弁 教育長

以前は単独チームが原則でしたが、全国的な学校の小規模化により、生徒の大会出場の

機会を作るために日本・近畿・和歌山・日高の各中学校体育連盟で規則改正が行われ、2チーム合同が認められました。

これは勝利至上主義のためでなく、単独チーム編成が困難な場合の救済措置であります。

再質問

よくわかりました。しかし、多くの町民や保護者は、なぜ印南町内で編成しないのか、わかっていません。

私も、町内で編成できれば保護者の負担も減り、今後の統合にも良い効果をもたらすと思います。

色々大変だと思えますが、印南町の取り組みで、「子育てするなら印南町」とあるように、郷土愛をより一層深めるよう、努力して頂きたいと思いますが、いかがですか。

答弁 教育長

全国の市町村には様々な条件の違いがあり、一定の基準、規定が作られています。情勢の変化の中で、規定は現状に合わせて、さらに見直しを進める事は必要であると思えます。

災害時のオフロードバイクの必要性について

質問 去る6月14日、印南分団と若手職員による

夜間訓練を見せて頂きました。

暑い中、消防団の方々はテキパキと行動され、職員の皆さんは最新式のモニターを用いてライブ中継を行い、本部との連絡をされていました。それを見て、行政

と消防団の方々が一体となり、町民の生命と財産を守って頂いている事に安心し、感謝致しました。

しかし、そこで一つ心配になった事がありました。当日は天気も良く、道路状況も問題ありませんでした。でも、災害時は気象状況も異なり、道路状況が変化します。がけ崩れや陥没・倒木等で道が塞がれた場合、車では現場に行く事が困難です。

どんな最新機器を持ってても、現場にたどり着かなくては役に立ちません。

ちません。

そこで、悪条件でも行動範囲が広がるオフロードバイクを活用する考えはありませんか。

答弁 総務課長

利点として車が通行出来ない道や渋滞等が発生した場合でもいち早く現場に到着することが出来ますし、孤立集落への物資の輸送や情報収集等に非常に効果が大きいと想像します。

今後、運転技術や安全性等も合わせて検討したい。



ここが聞きたい!



玄素 彰人 議員

台風時における防災無線の活用について

質問 台風通過後の住民への情報提供について、防災無線を活用し、もっと積極的にしてはどうですか。

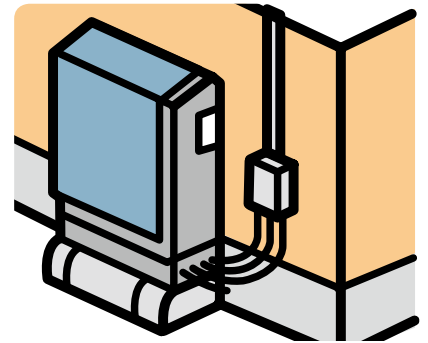
答弁 総務課長 今回の台風を機に、改善できるところはしていきたいと考えます。



停電対応について

質問 今回の台風による停電を教訓に、停電マニュアルを作成してはどうですか。

答弁 副町長 マニュアルのようなものが作成できればと考えています。



大規模災害を想定して

質問 発電機・蓄電池の個人の購入に対して助成・補助制度を設けてはどうですか。

答弁 総務課長 現状、自主防災会に対して、行っています。当面はそれに対応していただきたいと考えています。

一次産業復旧のための制度を!

質問 自宅などの被害については火災保険などで対応できますが、農業施設、漁業における被害に対しては、制度の使い勝手が悪かったり、保険をかける判断がしづらいものもあります。被害に対して、意欲を損なわないよう、基金運用益を活用した見舞金制度又は収入保障共済加入に際しての補助制度を設けてはどうですか。

答弁 総務課長 うですか。バランスを考えながら、見舞金制度を中心に検討していきます。





一般質問

古川 眞 議員

高台の開発

質問 島田農免道路付近は、宅地用として津波の影響を受けない候補地になります。

震災に備え、高台に住みたいという住民がいます。また、景観にも恵まれ、他市町村、また他府県からの移住希望者も狙え、人口増加にも貢献できると思います。

本開発について、執行部の意見を聞かせてください。

答弁 企画政策課長

人口減少対策は、町外・県外からの移住・定住の推進の観点から、住宅・宅地整備が有効な手段と考えています。

町の基本方針としては、若者や子育て世帯への定住支援として住宅・宅地供給

の具体的事業に取り組んでいきたいと考えています。

その中で、島田農免付近は、南海トラフ地震による津波が襲来しても、被害を受けない候補地の一つとして考えられます。

今後はJR3駅のうち、切目地区や稲原地区で諸条件をクリアできる候補地があるかなどを検討したいと考えています。



島田農免道路付近

切目川下流域の土砂

質問 切目川下流域の土砂堆積処理について、町はどのような情報を持たれていますか。

また、町から土砂撤去の要望を県に挙げる計画案はありますか。

答弁 建設課長

切目川の土砂堆積については、地元と協議の上、流れを阻害するおそれがある箇所を切目川の管理者である「県」に随時報告し、情報を共有しながら、要望を行っています。

近年では年に2回程度、部分的に土砂を撤去しています。

今年度は、地元から要望があった切目橋付近の導流堤で、瀬戸川の出たところの土砂を撤去し、スリム化を実

施します。現在、設計もでき上がり、10月末頃の実施と聞いています。

今後、流下能力が低下しないよう、河川改修事業の推進を図ります。また、申請についても県と協議を重ね、適正な河川管理を図っていきたいと考えております。



ここが聞きたい!



藤本 良昭 議員

今後の日裏 町政・残さ れた課題は

質問 一段と少子高齢化が進む中、残任期間にどのような施策を予定されているのですか。

答弁 町長

2期目のまちづくり基本姿勢・マニフェストの5つのまちづくりを柱として、残された任期を全うしていききたいと考えています。特に、南海トラフ地震をはじめ、大規模な自然災害から、1人の犠牲者も出さない施策を進めていきます。



農業従事者 の人手不足 対策について

質問 行政の立場から何らかの手当てを考へてはいかがですか。

答弁 産業課長

現時点において、行政が能動的に対策を講じるための施策はありません。個人の経営体から法人の経営体へシフトしていく方法に対しては、支援も考えられます。

障害者雇用 の実態につ いて

質問 地域の一員として共に生きる「共生社会」実現の理念のもと、当町は法令を順守され

ているのでしょうか。

答弁 総務課長

時例年6月の報告で、法定雇用率2.5%はクリアできております。

小中学生の 町外体験学 習について

質問 全国でにわかには盛んになった民泊は、個人宅へ宿泊し、農業体験はじめ生活体験をする教育旅行の一端として、町内では多くの学生を受け入れていま

す。わが町も町外へ体験学習の推進を、教育長から各校長に呼びかけてはいかがでしょうか。

答弁 教育長

過去においても実施していましたが、その効果は宿泊家庭との触

れ合いや社会性の育成に大きな意義があります。民泊事例や教育意義等を、校長会で紹介します。

農業集落排 水の停電時 における対 応について

質問 台風20号による停電のため、排水施設本来の機能が作動せず、汚水が逆流して個人宅へ流入し、大変なこととなりました。

同じ所で2回目と聞きますが、今後の抜本的な対策はありますか。

答弁 生活環境課長

町内には3つの農業集落排水施設があり、突発的な事態が発生すると即、役場と業者に警報が入るようになっていま

す。マンホールポンプには非常電源が無いため、バキューム車が対応し、処

理場へ運搬しています。今後は専門知識のある方にその方策を提案していただくなどの、最善策を検討しているところです。





一般質問

岡本 庄三 議員

鳥獣害対策 について

質問 近年の鳥獣害の被害状況と捕獲数をお聞かせ下さい。

【被害額と捕獲頭数】

	年度	農作物全体	猪	ニホン鹿	ニホン猿
被害額	27	850万円	272万円	146万円	88万円
	28	1,022万円	325万円	170万円	97万円
	29	988万円	248万円	292万円	99万円
捕獲頭数	27	1,166頭	803頭	309頭	54頭
	28	1,121頭	793頭	266頭	62頭
	29	1,673頭	1,121頭	473頭	79頭

【答弁】 産業課長

日高地域鳥獣被害対策本部が取りまとめた印南町のデータに基づき、平成27年度から29年度の3年度における被害金額の推移と獣種別の被害です。

捕獲効率はよくなつて捕獲頭数がふえてきています。それに普通は比例してほしいのですが、被害額が減少していません。個体数についても、減少しているというようないかなと考えています。

台風21号等 における対 策や対応に ついて

質問 台風20号でも停電、21号でも長期の停

電がありました。停電の原因は倒木によるものが多いと聞いていますが、私も以前より町道の草刈りとあわせて電線に架かる立木の根元からの伐採をお願いしていましたが、いかがでしょうか。

【答弁】 総務課長

関西電力に町長のほうから伐採を求めていつていただき、二度とこういう長い期間の停電が起こらないようにということですが。

【質問】

発電機や蓄電池の購入に補助金を出す。自分のところが停電でない場合には停電しているところへ貸し出す条件ではできないでしょうか。

【答弁】 総務課長

自主防災会に補助を出しまして、集会場に設置していただきたい。

【質問】

台風ゴミを役場が回収に来ると言うが、いつ来たのか分かりません。

他町のように鉄製大型コンテナ容器を置いてほしい。

【答弁】 総務課長

最初から被害の大きさを把握するには少し時間がかかり対応が遅くなりました。自主防等の連絡を素早くすべきだったと反省をしています。

【質問】

高齢者で車のない方は買い物にも行けない。非常食の備蓄は

活用されたのですか。

【答弁】 総務課長

保健師を派遣して非常食を持っていたり、飲み水等についても備蓄の飲み水等も配布しました。それだけでは不十分だったのでという点です。

買い物に行けない、また買い物に行っても品物がなかったということもあります。今後ご提案をいただきたい。



ここが聞きたい!



前田 憲男 議員

砂防堰堤の安全

質問 西日本豪雨では、広島県内の砂防堰堤が決壊し、甚大な被害となりました。

当町にも川又地内に数カ所の砂防堰堤があります。大きいものは、高さ40m、幅80mのものもあります。もし決壊すれば、流域に被害が及ぶだけでなく、切目川ダムも機能の大半を失いかねません。

この堰堤には、建設より50年以上経過しているものもありますが、安全は確認されているのでしょうか。



砂防堰堤 大又川

答弁 建設課長

現在町内には、砂防指定地域が6カ所ございます。管理者である県と協議し、一定の実施要綱に基づき5年に1回の定期点検を実施しています。

大又地区の堰堤には、1カ所修繕の必要性があり、本年度において測量設計をしています。

避難所について

質問 無人の避難所に避難された方の把握は、どのようにされているのでしょうか。

答弁 住民福祉課長

警戒レベルに応じて職員が駐留する場合もありますが、無人の場合はカメラを設置し、防災対策室にて確認します。ちなみに台風20号はカ

メラ確認、21号は職員駐留で対応しました。

20号・21号での避難者数は

質問 避難所まで遠距離で移動手段のない高齢者に、何かできる公助はありませんか。

避難先	20号	21号
避難センター		4名
印南公民館	1名	8名
切目小学校		6名
稲原防災センター	2名	3名
古井防災センター		3名

答弁 総務課長

職員数も少ない中で、現状としては自主防災会に頼らざるを得ません。しかしながら、地域の

状態も考慮して、今後公助の手を差し伸べられるような対策を講じていきたいと考えます。

停電での課題は

質問 台風21号では、町内各所で3日間以上の停電となり、私の地域では情報の集発信が全くできなくなりました。今後起こるとされている南海トラフ地震を考えると、もっと停電が長期化するかと考えられます。今回の停電において課題となったこと・改善す

答弁 総務課長

まず情報の収集発信関係のソフトハード面の充実が課題であると考えています。

それから生活水の確保や、高齢者・障害者等の介護ベッドの電源や酸素吸入器の電源の確保、また高齢者の方では、テレビが映らなくてもどこに連絡を取っていいのか分からないといったことがありました。そういうことへの対処など、様々な課題を出し合い、地域防災計画の見直しに生かしていきたいと考えております。



印南町文化協会 丸田大雅の名曲を伝承する「印南伝承会」

これまで、昭和八年誕生の印南音頭を伝承する活動を続けてきました。

そして今年六月、丸田大雅の没後四十年を迎え、この節目を契機に、今後は「印南音頭」だけでなく「印南盆唄」等々、大雅作の名曲を広く伝える「印南伝承会」とし、更に

前進しようと、大雅の碑の前（東光寺境内）にて、心を新たにしました。

印南町出身郷土史家、故小谷緑草氏によると、戦前は「印南音頭」が和歌山県の民謡にもなっていたといえます。

また、昭和十一年夏に印南音頭を踊っている町の写真が、地方区・湯川英男家より発見され、「印南音頭」伝承の意義を一層深めました。当時、多くの男子大人が踊り手の中心となり盛り上げ、町に活気があった様子が見

えます。

大雅が印南に住んでいたのは、わずか九年だけなのに、愛郷の念で四曲も残してくれました。

その歴史を知らない人にも、この名曲を一人でも多くの人に伝承することが恩返しと私達は思います。

そんなことから、先刻、印南音頭伝承協力員公募において、

- 朝間 英子・井川 和代
- 上山千重子・岡崎富美子
- 片山美代子・熊代 香代
- 倉 文江・鳴神ゆり子
- 演 文字・雪井 政子

各氏が第一回協力員として、一同、伝承に微力を尽くしたいと申し出てくれました。

自然災害なども多い昨今、「地域の絆づくり」に盆踊りなどが注目されています。私達も、「印

南を元気にししよら盆踊り」の心を大事にし、郷の名曲で地域の笑顔の絆づくりの仲間を増やしたいと思います。印南体操として椅子でも踊れます。「文化祭」「かえるのフェスティバル」でも踊りますので、ごいっしょにどうぞ！

印南町文化協会「印南伝承会」

- 代表 坂下緋美
- 共賛 東光寺・嶋田隆道
- 後援 印南町教育委員会
- 世話人

前記協力員及び文協役員※印南伝承の唄、四曲入りのCDは、教育委員会にて購入できます。一家に一枚、五十年ぶりの音源を文化財のつもりでお楽しみ下さい。（一枚千円）

お問い合わせ
42-1702（公民館）



昭和十一年の写真



大雅没四十年・奉納式

あとがき

まさに「災害大国 日本」と言ってしまうくらい、台風・大雨・地震と、次から次へと日本を襲う自然の脅威。我々はなす術もなく、唯々受け入れるしかないのか・・・。

台風21号では、野も山も塩害で真っ茶色に染まるなど、大きな爪痕が残りました。

一方で、日頃あまり感じない水や電気の有り難さを、痛切に肌で感じた秋口でもありました。感傷にひたる間もなく、時は流れ、平成の世は終わりを告げようとしています。

（藤本 記）

TEL 42-1739
FAX 42-8055

議会広報特別委員会

- 委員長 中島 洋
- 副委員長 古川 眞
- 委員 藤本 良昭
- 委員 前田 憲男
- 委員 杉谷 考祥
- 委員 玉置 克彦